

平成28年度 1学期 生徒による授業評価の分析と改善方針(1学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	どの項目の評価からも、ほぼ満足な状態であることがうかがえるが、「生徒主体の授業」について、更なる充実を求めた回答が少なからずいるので、改善の必要がある。	話し合い、発表をまとめ、発表するなど、生徒が主体的に取り組みことができる授業内容を取り入れ、生徒の興味・関心を引き出し、理解を深められるよう2学期以降さらに工夫していきたい。
社会	ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が90%前後であったが、「生徒主体の授業の工夫」についてのみ、約70%であった。	授業評価の内容を踏まえ、「生徒主体の授業」が実現できるよう工夫していきたい。
数学	「授業の充実感」「生徒主体の授業の工夫」「生徒への接し方」の評価がやや低い。計算中心の内容であった上、中学校との量、難易度の変化に対応できない生徒が増えていると思われる。	充実感の得られる授業内容、構成になるよう、具体例を挙げながら社会との関わりが実感できるよう工夫する。また、理解度の高い生徒には、発展的な内容も扱い達成感を与えたい。
理科	ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が90%前後であったが、「生徒主体の授業の工夫」と「学習への取り組み」についての評価が低い。	グループワークを通して、自らの意見を伝える場面を増やす。また、グループごとの意見を発表する機会を設け、言語活動の充実を図りながら生徒主体の授業を展開していく必要がある。
体育	全体的に高い評価であった。集団行動、ラジオ体操第一などゲーム性のない種目を時間をかけて行ったぶん、「学習への取り組み」の評価は他の学年の体育と比べ低い。	集団行動、ラジオ体操も意図的に取り組む様子のみはみられるが、どうしても球技と比べると充実感には欠ける。また、1年生なので教師主体の授業が多いが、徐々に生徒主体の授業にしていきたい。
保健	第一章「現代社会と健康」の内容で行った。このクラスも問題なく授業を受けている。例年より「生徒主体の授業の工夫」の評価が高いが、「学習への取り組み」の評価は2年生より低い。	「生徒主体の授業の工夫」の評価が高いのはアクティブラーニングなどを取り入れた結果であり、今後も継続していく。「学習への取り組み」について、さらに興味関心をひくよう授業の工夫が必要。
美術	多くの項目で「当てはまる」という回答が90%以上であったが、「生徒主体の授業の工夫」は70%であった。1学期は短時間で多くの課題を制作されていた。提出状況は良く、全体的には良い取り組みであったが、指導方法としては課題を考える時間を増やす必要があると感じた。	2学期は時間をかける課題となるので、生徒の個性をさらに発揮できるように、教材研究を徹底したい。毎回、授業での到達目標を設定して、進度の差が出ないようにしていきたい。
音楽	ほとんどの項目で高評価だが、「生徒主体の授業の工夫」の評価が他より低い。各自でギター・キーボードの課題を行ったが、個人での発表・発言の機会が少なかったためと考えられる。	2学期は歌唱中心の授業になるので、充実感、満足感を与えられるように教材研究を徹底したい。生徒が主体となる授業を心がけて発言や発表の場面を多く作り、学習への意欲を高めていく。
英語	授業への満足度は高いと思われるが、「授業への充実感」は他の項目より「当てはまらない」という回答が多い。何をもって「授業の充実感」とするか生徒の立場に立って検証したい。	生徒の取り組み姿勢にも注意しつつ、授業内容や指導方法に継続して工夫を重ねていく。
家庭	「授業の進め方」「説明のわかりやすさ」について当てはまるという回答が少なかった。プリントの説明や記入の時間を授業時間不足のため急いでしまったことが原因の一つと考えられる。	もう少し余裕をもって授業計画を立て、生徒の理解度に合わせたきめ細かな授業を心がける。
情報	「生徒主体の授業の工夫」について、当てはまるという回答が少なかった。機器の操作方法の説明や課題作成の作業が中心であったためと思われる。	2学期以降のプレゼンテーション等の実習で、生徒が主体的に活動する場面を意図的に多く取り入れていくとともに、生徒のアイデアや言語活動を大切に、達成感をもたせていくようにする。

平成28年度 1学期 生徒による授業評価の分析と改善方針(2学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	全体的に生徒の授業に対する満足度は高いと思われる。現代文Bにおいては授業の充実感を感じない生徒が比較的多いので、より充実感を高めるように努めていく必要がある。	授業内容をよりわかりやすく生徒に伝えられるように改善し、生徒が、より充実感を感じられるような授業を展開し、学習への意欲を高めていきたい。
社会	ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が90%以上であるが、「生徒主体の授業の工夫」についてのみ、どの科目も80%台であった。	世界史A、日本史Aは授業評価の内容を分析し、「生徒主体の授業」の実現に尽力したい。地理Aは概ね授業への満足度が高いが、評価内容を精査し、きめ細かい取り組みを実施していきたい。
数学	概ね良好な結果が得られた。進路希望別クラスにより、授業内容を変えて進めたり、試験対策プリントや試験準備等を充実させたことで、生徒自身が成果を感じたためと思われる。	今後さらに授業内容が高度になっていくため、基礎基本の習熟を図りながら、進捗・内容を工夫していく必要がある。また、生徒の自己表現活動を充実させていくことが課題である。
理科	ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が90%前後であったが、物理基礎は「学習への取り組み」の評価が若干低い。内容が少しずつ難しくなり、意欲的に学習に取り組める生徒が減少していることが原因だと考えられる。	生徒の理解をより一層深めるために、章末の計算問題を解かせる時間を十分に取り、机間指導で個の対応を行ってそれぞれの課題を克服できるよう努める。また、計算問題を解く時間はグループワークで行い、生徒同士の学び合いが生まれるような支援を行っていく。
体育	共通種目として集団行動、ラジオ体操第一、陸上競技を行い、さらに選択種目としてサッカー、ソフトボールなどを実施した。「生徒の主体性の工夫」で高い評価が得られた。	全体的に高い評価を得ている。週2時間と授業時間が少なくなるぶん、役立つ知識や技能習得に向け、授業内容、指導方法を工夫し、生徒が意欲的に取り組めるよう心がけたい。
保健	特に問題のあるクラスはない。性教育の部分が大半を占めるぶん、自分の人生に関わる分野として学習意欲は高い。「生徒主体の授業の工夫」の評価が他の項目より低い。	特に問題はないが、「生徒主体の授業の工夫」という点の数値向上を目指したい。グループワークをしつらい単元ではあるが授業の工夫をしていきたい。
美術	多くの項目で「当てはまる」という回答が90%以上であるが、「生徒主体の授業の工夫」は87%であった。真剣に取り組む生徒も多いが、最後まで根気強く取り組めることがある。	2学期は工芸課題があるので、制作工程(プロセス)が非常に重要になってくる為、理解が深められ、充実した制作活動ができるように、プリントや教材見本などを工夫して取り組みたい。
音楽	すべての項目で「当てはまる」という回答が96%以上であったが、「生徒への接し方」と「学習への取り組み」について「当てはまる」の割合が低いので改善する必要がある。	「学習への取組」の改善のためにも一層の教材研究を行っていく。生徒の多くが歌うことに意欲的なので、このま音楽を愛好する心を育み、豊かな表現と情操を身に着けられるよう指導していく。
英語	全体的に授業に対する満足度は高いと思われるが、授業で充実感を感じていない生徒が多いので、授業で充実感を得られるような授業展開に努めていく必要がある。	コミュニケーション英語II、発展英語Aともに、よりわかりやすい授業を心がけ、生徒が充実感を持つような授業を展開し、生徒の学習意欲を高めていきたいと思う。
家庭	すべての項目で「当てはまる」という回答が90%以上であった。被服実習など生徒が充実感を得られる内容であったと思われる。フードデザインは、「授業の進め方」の評価が低かった。座学の時間に生徒の興味を引く授業が展開できなかったと考えられる。	今後も引き続き、生徒の状態を捉えながら学習内容や進度を工夫・調整し、生徒の理解度に合わせた指導をし掛けた。フードデザインにおいては、今後も実習・実験を充実させ、座学においても生徒が興味を持てるような授業時間比率を考えていきたい。
情報	ほとんどの生徒が、すべての項目において当てはまると回答した。	1学期までと同様に課題を工夫し、生徒の活動をしっかりと観察しながら授業を進めていく。

平成28年度 1学期 生徒による授業評価の分析と改善方針(3学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	授業内容・指導方法及び生徒自身の取り組みについて、ほぼ満足な状態であることがうかがえる。精選現代文や理系現代文は特に満足度が高い。古典精読や古典研究では「生徒主体の授業」の項目で更なる充実を求めた回答をした生徒が若干存在するので、工夫が必要。	生徒各自の進路実現にむけて授業内容の充実を図ること、また、より主体的に取り組むことのできる授業展開を積極的に授業に取り入れていくことが望まれる。
社会	政治経済や新聞講話は、授業への満足度が極めて高い。世界史Bや日本史Bは、「ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が90%以上であるが、「生徒主体の授業の工夫」の評価は他の項目より低い傾向にある。	世界史Bや日本史Bは、「生徒主体の授業」を工夫していきたい。政治・経済や新聞講話は高い満足度が伺えるが、授業の内容や方法を生徒の多様な進路希望に応じたい、よりきめ細かいものにしていきたい。
数学	与えられた課題に対して全員がしっかりと取り組んでおり、良い雰囲気での授業を行ってきた。全体的に高い評価となっておりはいるものの、「授業の充実感」の評価が若干低い科目もあるので改善するべき。	生徒が数学の問題を解くときに、楽しい、おもしろいと感じるような授業展開を目指していきたい。そこから充実感を感じさせていきたい。
理科	全体的に高い数値となっているが、充実感を感じていない生徒や、学習への取り組みが悪いと回答した生徒が若干いた。また、生物においては「説明の分かり易さ」の項目で「とても当てはまる」を選んだ生徒が89%と、生徒が満足する授業が展開されている科目もある。	2学期は、進路が決まった生徒が増え、授業の取り組み状況が懸念される。そのため、生徒の興味を惹くような教材の研究に努め、学ぶ楽しさを感じる授業展開を作っていく。
体育	一部期間に陸上競技、その他の期間は各自が選ぶ選択種目を中心とした授業を実施した。生徒が各自好きな得意な種目を選択するため、多くの項目の評価が他学年より高い。	生涯スポーツの観点からも知識、技能を身につけさせられるように工夫をしていきたい。また、自分たちで試合だけでなく課題解決ができるように促していきたい。
美術	すべての項目で「当てはまる」という回答が90%以上であったが、「生徒主体の授業の工夫」は84%であった。概ね良い結果だが、課題については進め方をしっかりと組み立てて最後まで根気強く取り組めるようにする必要があると感じた。	さらに積極的に授業にのぞめるように、作品制作の為の資料収集や鑑賞方法、素材研究など、授業以外での勉強法についても指導していきたい。興味を持って充実した制作活動ができるように教材の準備を徹底したい。
音楽	全ての項目で「当てはまる」という回答が100%であった。しかし、「生徒主体の授業の工夫」についてのみ「とても当てはまる」の割合が低かった。全員がピアノ初心者生徒で、基本を教えることで時間を割いてはいる、発言の機会がなかったためと考えられる。	伸び悩んでいる生徒への声掛けを工夫し、一人ひとりに合った指導方法を行う。ピアノに合わせた歌いや、子供の歌に合わせたピアノの弾き方も指導し、発表の機会を多く作るようにする。
英語	ほとんどの項目で「当てはまる」という回答が多いが、コミュニケーション英語Ⅲの「学習への取組」について「あまり当てはまらない」という回答の数が二桁となった。また、コミュニケーション英語Ⅲも発展英語Bも、同項目で「ほとんど当てはまらない」の回答が1つある。	コミュニケーション英語、発展英語ともに、生徒が主体的に学習に取り組むようになる工夫が求められる。モチベーションを考慮した授業展開を教員一同団結してこころがけていく。
家庭	発達と保育は少人数のため十分に個別指導ができたことや、進路実現に向けて保育園実習を取り入れているので生徒も意欲的に学習に取り組んでいるため、全体的に評価が高い。	2学期以降も保育園実習を取り入れ、進路実現に向けて更なる保育に対する知識と技術を身に着け実践力を高めていく。